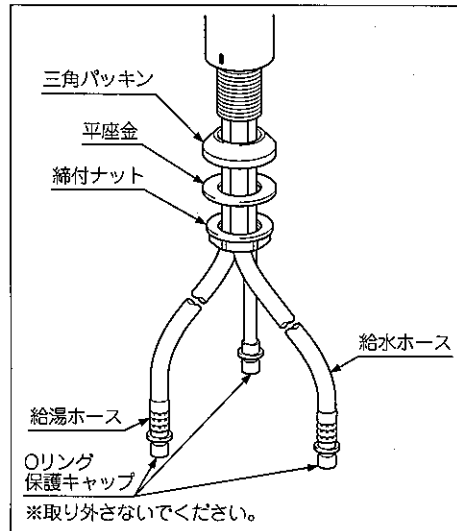


●施工方法

1. 本体部の取付け

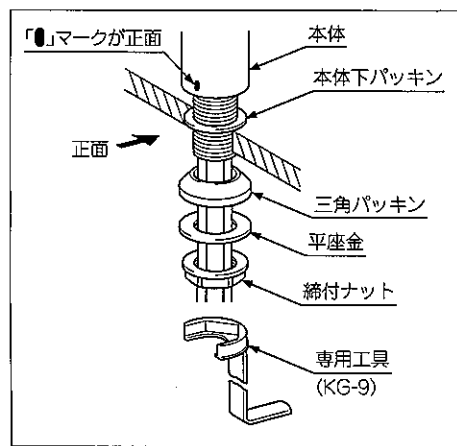
(1)水栓本体に付いている締付ナット・平座金・三角パッキンを取り外し、本体をカウンター穴に挿入します。

※Oリング保護キャップはソケットと接続するまで取り外さないでください。



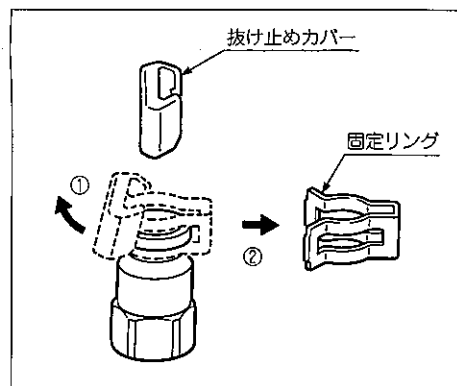
(2)水栓本体の「●」マークが正面を向くように締付ナットで固定します。

※別売の専用工具 (KG-9) を使用してください。

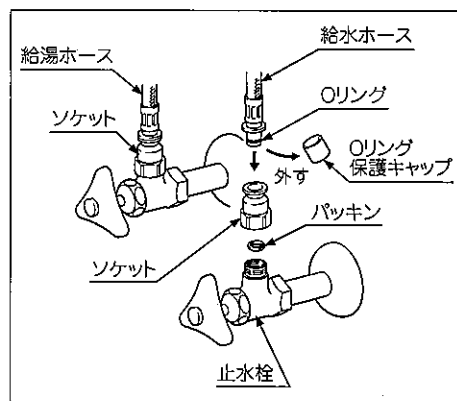


2. ソケットと止水栓の接続

(1)抜け止めカバー、固定リングの順に取り外します。



(2)ソケットを止水栓に固定します。
※ソケット内にパッキンがあることを確認してください。



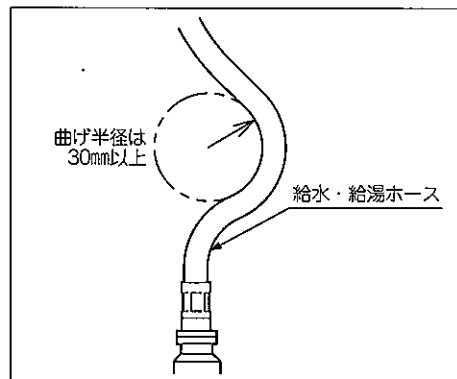
3. 給水・給湯ホースとソケットの接続

(1)給水・給湯ホースのOリング保護キャップを取り外し、ソケットに差し込みます。

※Oリングに傷をついたり、ゴミがみさせないように注意してください。漏水の原因になります。

※給水・給湯ホースを曲げる場合は、曲げ半径を30mm以上確保してください。

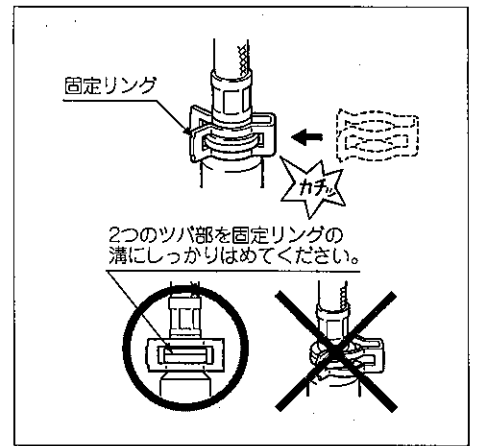
無理に曲げるとホースが損傷し、漏水の原因となります。
※壁給水の止水栓の位置が高くなった場合、止水栓の角度を広げて給水・給湯ホースを接続してください。



(2)固定リングを給水・給湯ホースとソケットの接続部(ツバ部)にはめ込みます。

※しっかり取り付けないと漏水の原因となりますので、確実にはめ込んでください。

※給水・給湯ホースを上を引き、確実に接続されていることを確認してください。

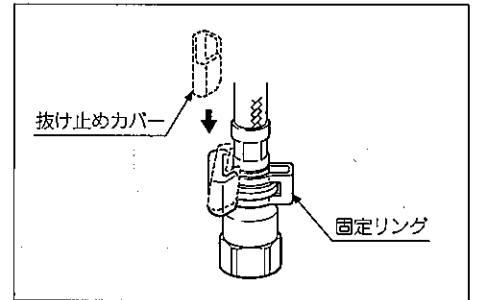


(3)抜け止めカバーを固定リングにはめ込みます。

※固定リングが外れると漏水の原因となりますので、必ずしっかりとめ込んでください。

※直接固定リングに手を触れるとケガする恐れがあります。

抜け止めカバーを必ずはめたままにしてください。

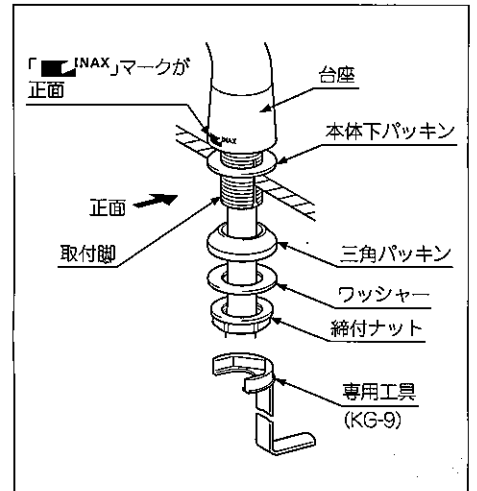


4. 吐水口部の取付け

(1)締付ナット、ワッシャー、三角パッキンを取り外し、取付脚を取付穴に挿入します。

(2)台座の「■INAX」マークが正面を向くように締付ナットで固定します。

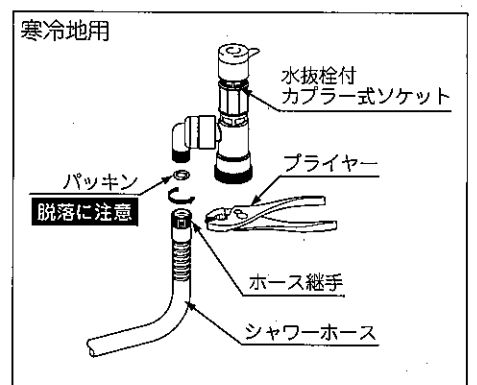
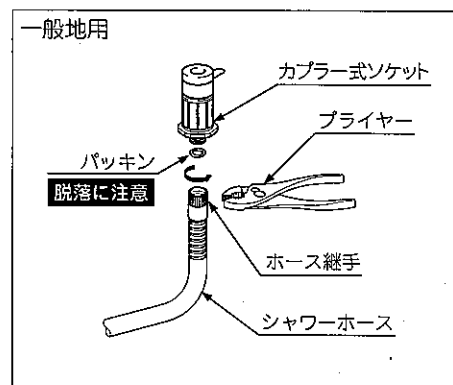
※別売の専用工具 (KG-9) を使用してください。



5. シャワーホースとカップ式ソケットの接続

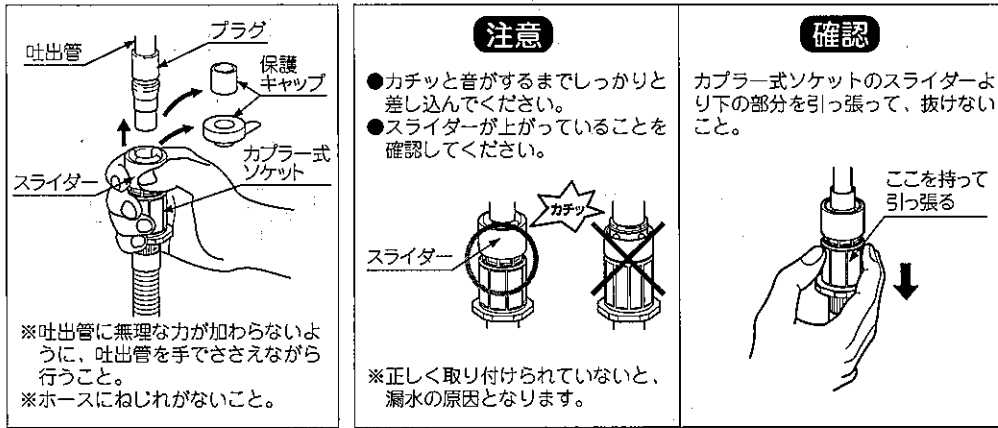
シャワーホースのホース継手をカップ式ソケットにプライヤー等でしっかりと接続します。

※ホース継手内にパッキンがあることを確認してください。

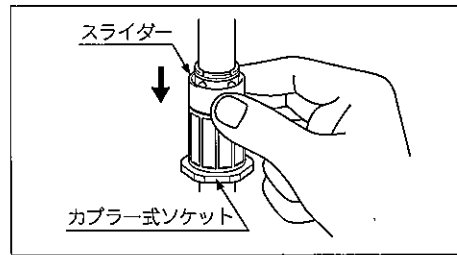


6. プラグとカプラー式ソケットの接続

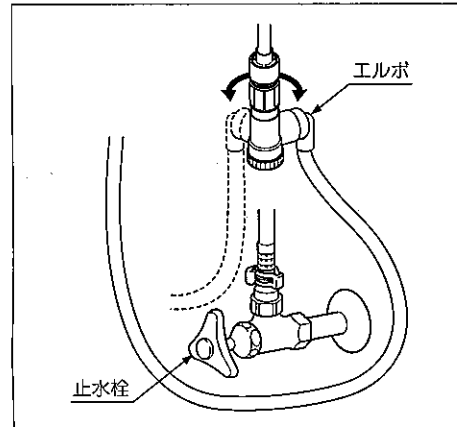
(1)カプラー式ソケットとプラグの保護キャップを外し、カプラー式ソケットをプラグに差し込みます。



(2)カプラー式ソケットを外すときは、スライダーを下げながら、カプラー式ソケットを下に引っ張る。



※寒冷地仕様の場合は、右図のようにホースが湯・水の止水栓を避けるようにエルボの向きを調節してください。

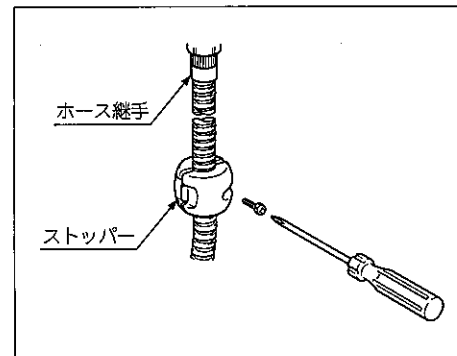


7. ストッパーの固定

ストッパーをホースの赤テープの位置に取り付けます。

※ホースをいっぱいまで引き出したとき、止水栓などに引っかかる場合は、ストッパーの位置を赤テープの位置にかかわらず調節してください。

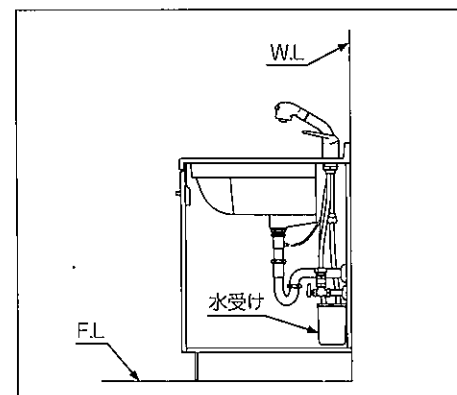
ホース引出し長さは300~350mmを目安としてください。



8. 水受けの設置

使用中ホースを伝わって水が浸入することがありますので必ず水受けを設けます。

※シャワースタンドの上げ下げとシャワーヘッドの出し入れを数回繰り返して、シャワーホースが水受けに納まることを確認してください。



●施工後の調節

●流量調節

不用意に全開した場合の水の飛散を防止するため、全開時、8L/分程度(市販の洗面器(容量約3L)一杯にするのに30秒弱)になるように湯水の止水栓を調節してください。

●引渡前の確認

引渡前および故障時の点検は以下の要領で行ってください。

※この商品は、ウォーターハンマー低減機構を採用しています。レバーハンドルを急に下げると抵抗が発生し重く感じるがありますが、故障ではありません。

●故障と点検

※点検箇所は右図を参照してください。

現象	点検内容	点検箇所	処置
流量が少ない	圧力は十分か?		「使用条件」の項参照。
	配管途中に大きな抵抗はないか?		抵抗となる障害物を取り除く。
	止水栓は十分開いているか?		止水栓を十分開く。
水が止まらない	泡沫ユニット、ストレーナーにゴミ詰まりはないか?	①②	ゴミ等を水で洗い流す。
	ゴミかみはないか?	③	ゴミ等を水で洗い流す。
	キズはないか?	③	キズがあれば部品を交換する。
希望の温度が得られない	ゆるみはないか?	④	固定ナットを締める。締めすぎるとレバーハンドルが重くなる場合がありますので注意してください。
	圧力は十分か?		「使用条件」の項参照。
	流量調節はよいか?		「流量調節」の項参照。
レバーハンドルがガタつく	泡沫ユニット、ストレーナーにゴミ詰まりはないか?	①②	ゴミ等を水で洗い流す。
	ゆるみはないか?	⑤	ねじをしっかりと締める。

